

パーソナルアシスタント町田通信

労働基準法を再確認して過重労働のない優良企業へ

新たな 36 協定を結んだ事によるヘルパーさんへの説明と注意点を再度確認

1.協定内容

一定期間の延長時間については 1 ヶ月 45 時間、1 年 360 時間とする。

ただし流行性疾患などで通常考えられる人数を上回る従業員が休業の場合は、労使の協議を経て、1 ヶ月 169 時間、1 年 1194 時間まで延長することができる。この場合延長時間 45 時間を越えて勤務できる回数は年 6 回までとする。

2.注意点

この協定によって、1 ヶ月 169 時間、1 年 1194 時間の時間外労働が認められたが、本来労働者の健康等安全配慮の観点から残業は禁止されており、新しい協定時間についても「やむを得ない突発的な事由」のときのみ許されているため、この規定を破った場合「悪質な事業所」と労基署から見なされる可能性が高くなる。

3.時間数を守るためには

新しい規定により突発的なヘルパー不足などで、穴埋めする場合は時間外労働が 60 時間を越えても勤務できるようになったが、その代わり基本的には、時間外労働を 45 時間に抑えなくてはいけなくなった。

月の時間外労働を 45 時間以内に抑えるためには、31 日月の場合 222 時間（当社月間所定労働時間 177+45=222）30 日月の場合 216 時間（同じく 171+45=216）28 日月の場合 205 時間（同じく 160+45=205）以内に勤務時間を設定しなければならない。この場合も週 50 時間が目安となる。

これから会社として取り組むべき事

下記全ての試みを利用者様、全従業員に御理解頂いた上で事務局員総出を挙げておこなって行きます。

※下記事項以外にも追加される場合があります。

1.止むを得ず 2 ヶ月連続で越えてしまった場合

2 ヶ月連続で月 45 時間を越えた従業員がいた場合、担当者三上から各事業所管理者と衛生管理者に報告をあげ、衛生管理者から当該従業員に対して何らかの形で通知をし、健康診断や産業医の診断を受けるように促す **長時間労働者の疲労蓄積確認票**を作成する。

2.衛生管理委員会での定期的な報告

衛生管理委員会で取り上げた過重労働についての報告を少なくとも年 1 回行なう。

超過勤務者が続出した場合はその都度、過重労働者に対する取り組みの報告。

3.通信等での通知

過重労働についての新规定を PAM 通信で定期的に注意を促す記事を載せる。

※詳しくは衛生委員会バックナンバーvol.48 に記載がありますので、そちらもご覧ください。

ヨコハマゴムのメディエアワンのモニター体験

この商品の最大の売りは正しく使っていれば底付きしない機能が付いている事。いつでも自動で体位保持空気圧を検知して正してくれる事です。

今使っている口ホクッションは、空気圧の点検を定期的にしなければならず、その都度何となく座り心地に違和感を覚えたりします。私は体幹が左に傾く傾向があり、4分割されている左後部のセル16個の空気圧を右側よりやや高めに調整して補っています。しかしこのメディエアワンは身体の傾きを知らぬ間に正してくれるのです。

すり鉢状のセル形状も安定感があり体保持に一役買っていると思いました。

調整作動時の音もさほどは気にならず、仕事場でも遠慮しなくてもいいレベルです。



ただ気になったのはバッテリーの充電時間が8時間と長い上、使用時間は9時間と短い事です。「ピッピという断続音で、バッテリーがもうすぐ無くなりますよ」と知らせてくれ「ピーという継続音でもう無くなりました」と知らせてくれます。先日初めて使用した際は、仕事帰りに鳴ってしまいました。後から知ったのですが、空気が抜けてしまうので早急に対処しなければ褥瘡になる危険があります。その後も車椅子に乗っていなければならないなら、バッテリーは2個買いが良いと思います。家などなら付属のACアダプターを使って継続する手もありますが、コンセントのそばから離れる事はできません。

体位保持には優れているので、老人ホームに入居している方達が車椅子上で姿勢悪くテレビを観ている写真が説明書に出ていました。傾いた姿勢をメディエアワン使用でここまで改善されましたというデータ付きでした。

頸損の障がい者が底付き防止や褥瘡予防に使うというより、体位保持専用クッションと見た方が良くのかも知れません。

使い心地は悪く無かったのですが、バッテリー切れると空気が抜けてしまう事が難点です。知らずにしばらく乗ったままでいた私の尾骨は残念ながら少し傷んでしまいました。先に電話でバッテリーが切れたらどうなるのか確認しておくべきでした。バッテリーとリモコンは車椅子の背部分や手すりに取り付けるようになります。興味のある方はこちらからで詳細を見て下さい。

<http://www.yrc.co.jp/medi-air/index.html>

まだまだ活用したいヘルパー応募・利用者募集台帳

PAM・PAS・PAYと事業所が三カ所に増えた事で、働きたい人などがいたとき、いままでは電話連絡でPAM・PAS・PAYの情報交換をして、他の利用者様の空き時間などを、サービス提供責任者に聞く等の面倒な上、時間の掛かる作業をしていました。そこでこの度、事務の効率化を図るべく、PAM・PAS・PAYからパソコンで見ることが出来るヘル



パー応募・利用者募集台帳を作成しました。利用者様におきましては、もしヘルパーさんを募集したい時は、事務局、又はサービス提供責任者に希望介助の曜日、時間帯や性別等を連絡して頂き台帳に登録。

ヘルパーさんにおきましても、同じ手順で台帳に登録して頂く事で、利用者様、ヘルパーさん達お互いの曜日、時間帯等が合う場合、すぐに担当者から面接などの連絡をさせて頂くという事が可能になります。利用者様が希望する時の該当ヘルパーさんがいない場合も今までより早く回答が出来、募集などを早く掛けられます。

台帳が皆様に有効活用されることで募集時の対応が迅速に行え3スタッフに大変便利になるかと思えます。利用者様、ヘルパーの皆様には台帳登録と、その後、契約完了時の登録の取り下げを事務局、又はサービス提供責任者にご連絡頂き、いつでも皆様のニーズに応える事が出来る台帳作りを目指して行きたいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

PAM café 遠足

PAMcafeは、普段会えない人（利用者、ヘルパー、地域の方）のコミュニケーションの場を目的として、年3回行っています。

今回の企画はよこはま動物園ズーラシアへ遠足です。よこはま動物園は4月22日に『アフリカのサバンナコーナー』が増設される予定で、注目度が高まっています。動物に癒され、参加者全員でランチを囲み、素敵な1日を過ごしましょう。

開催日時：5月10日（日） 11:00-14:00（雨天延期）

集合場所：11時『よこはま動物園ズーラシア 正門前』

対象者：どなたでも可。友人やご家族をお誘い合わせの上、ご参加ください。

入園料：障がい者（同伴2名まで）と、小学生未満は無料です。

入園料 大人 800円（18歳以上）

子供 200円（小/中学生）

昼食代：園内レストランで各自お支払いください。（お弁当持参可）

アクセス：JR中山駅南口より鶴ヶ峰行き、よこはま動物園行き。バス30分。

<http://www2.zoorasia.org/information/access/>

	よこはま動物園行き	鶴ヶ峰行き（上白根町にて下車）
9時	7, 25, 41, 55	15, 45
10時	10, 20, 40, 55	25, 50

連絡先：メール serizawa@pa-machida.co.jp

電話 090-8949-4970（芹澤）

人数把握、雨天延期の連絡の為、5月9日（土）20:00までに参加連絡をお願い致します。

*前日の天気予報で当日が雨だった際は、一週間後の17日（日）に延期です。

延期の際は、参加連絡を頂いてる方のみ、芹澤より連絡させていただきます。